

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	東北大学
申 請 区 分	タイプA
〔評価コメント〕	
<p>本構想は、グローバル・リーダー育成を狙いとしたプログラムであり、これまでの大学のグローバル化の取り組みを踏まえて大学の国際化を一層前進させようとする意欲的な取り組みである。目標の定め方やカリキュラムの開発において、これまでの実績の評価とともに、学生の英語力や留学を阻害する因子等について調査分析し、大学の実態（証拠）に基づく着実に挑戦的な構想となっている。また、教育課程及び認定プログラムの内容も体系化されており、留学促進の環境整備も具体的で実現可能性が高いと思われる。</p> <p>具体的には、グローバル・リーダー育成プログラムを新設し、これを支えるグローバル・ラーニング・センター構想は体系的、かつ明確であると評価できる。その中で、サブプログラム、留学とグローバル・リーダー認定への道のりがわかりやすく示されており、学生が参加しやすいと思われる。また、学生の留学へのモチベーションを向上させるためのコーディネーター、奨学金の拡充等の取り組みは評価できる。</p> <p>英語力の育成については、すでに実施している「学部1年時全学生を対象とした TOEFL ITP」を更に発展させ、成績優秀者には TOEFL iBT の受験を奨励・支援することにより英語4技能をより客観的・適切に評価する等の方策は有効であると思われる。</p> <p>他大学のグローバル化の牽引に関しては、特に北日本の他の大学とネットワークを形成し、コンソーシアムを組織することで、成果を公開するだけでなくグローバル・リーダー育成プログラムの授業の開放やイベントの開催等、情報の提供のみならず具体的な活動を通じてグローバル化の拠点として他大学を牽引するものと期待できる。</p> <p>しかしながら、グローバル・リーダー育成プログラムの質保証に関する具体的取り組みの更なる検討が望まれる。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にす国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	